

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710 WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報



会 長 木村 安伸
 会長エレクト夜船 正昭
 副 会 長 久藤 孝仁
 幹 事 堀越 賢二
 副 幹 事 佐々木秀明
 会 計 宮本 和彦
 S A A 市川 重雄

副SAA 菅 義尚
 直前会長 荒谷 隆文
 管理運営 本庄 純夫
 会員組織 大成 義彦
 奉 仕 吉本きよ子
 広 報 三好 静子
 R財米山 藤中 保

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第一おおぎビル102号
 TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
 URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
 <例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑 TEL 0846-22-2970
 <例会日> 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 1月23日

ロータリー情報委員会担当例会

次週のプログラム 1月30日

クラブ決算報告(前期分)

【2014年1月16日 第2414回例会記録】

- ソング:奉仕の理想
- ロータリーの目的:吉本きよ子会員

スマイルボックス



- 会員誕生日...吉岡
- 配偶者誕生日...菅、市川、朝比奈、下山
- 年賀状...市川、吉岡、木村、宮本、中川
大成、大田、原田、夜船、朝比奈
吉本、佐藤、円山、下山、佐渡、菅
本庄、久藤、藤中、堀越

□特別スマイル

- ・弊社社員のチャンの結婚式に出席の為ベトナムハイジュンに行って来ました。これからもチャン君の育成に御指導下さい。(原田一平)
- ・たけの子会コンペで優勝させて頂きました。次回も頑張りますので宜しくお願い致します。(久藤孝仁)

幹事報告

- 幹事 堀越 賢二
- ・4クラブ合同例会ご案内 広島空港RC
- ・2016-17年度ガバナーノミニ候補者推薦
ガバナー 沖田 哲義
広島中央RC 田原榮一氏
- ・例会終了後、定例理事会を開催します。

会長の時間

会長 木村 安伸

1月も半ばになると新春気分も薄らいで来ましたが、体調には十分気を付けて、風邪、インフルエンザなどに罹らないよう注意しましょう。

さて、1月は「ロータリー理解推進月間」です。これは、会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間となっています。これに関連して、ガバナー月信1月号に沖田ガバナーと諏訪バスターガバナーが、詳しく解説されています。お二人は、「ロータリーの目的(綱領)」に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの二つの奉仕理念をロータリー哲学として確定したドキュメント、つまり決議23-34を踏まえて述べられていますので、会員の皆様には是非これをご精読願います。

次に、私は去る11日(土)に竹原市民館ホールで開催された「平成26年竹原市成人式」に出席しました。新成人は、男性173名、女性140名の合計313名です。プログラム「家族への感謝の手紙・歌」の発表では、男性4名の代表者が、それぞれに両親、家族への感謝、将来への希望の思いを語りましたが、中でも賀茂川中学校卒業の男性は、母親に苦勞しながら女手一つで育てられ、如水館高校時代野球部に入り、夢であった甲子園球場出場を果たすことが出来た。今後は、その恩に報いるためにも一日も早く母親を楽にさせてあげたいと強く決意を語り、感動的でした。矢張り、母は強いものです。

記念日代表謝辞

1月記念日を代表して朝比奈会員よりお礼の言葉が述べられました。

委員会報告

□奉仕プロジェクト委員会 委員長 吉本きよ子
次週1月23日(木)の例会終了後、竹原ロードレース大会について打ち合わせ会を行いますので宜しくお願いします。

誕生日該当者会員卓話



会員 吉岡 一眞

只今は83才の誕生日のお祝いを頂き有難うございました。

□平均寿命を見ると、

	男子	女子
平成24年(現在)	79.94才(世界5位)	86.41才(世界1位)
昭和22年(戦後)	50.06才	53.96才

私の子供時代は人生50年といわれ、昭和6年満州事変、12年支那事変、16年第二次世界大戦に突入した。国の総力を挙げての戦いに、男性は戦争に召集され、中学生であった私達は働き手のいなくなった各地の農村へ、三原の三菱重工へと動員されて真っ黒になって働いた。

厚生労働省は、今後医療の進歩で三大死因(ガン・心疾患・脳血管疾患)の死亡率が低下の傾向にあり、日本人の平均寿命はまだ伸びる可能性があるとしている。

□出生数が減少している

平成25年出生数103万1,000人(戦後最少を更新)
死亡数127万5,000人(自然減24万4,000人)
(8年前から減少に転じ毎年20万人程減り続けている)

子供の数が減れば出産可能な若い女性も減ってくる。現在日本の「1.41」という出生率がこのまま続いていくと、国力が弱まり将来国の存亡に関わってくる。結婚も出産も個人の選択であるが、一人の女性が複数の子供を生まない限り、少子化の歯止めはかからない。昨年の婚姻数は66万3,000組で戦後二番目に少ないが、調査によると多くの独身者は結婚を願い、子供が欲しいと考えている。結婚支援が緊急の課題であり、少子化に歯止めをかける重要なポイントである。出生率「2.0」の回復を目標に子育て支援と両輪で強力に進めていかなければならない。

□竹原市の人口推移

昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年
36,895人	31,935人	30,657人	28,644人	28,286人

(竹原市のピーク)

・年齢3区分別人口・割合

	平成12年	平成17年	平成22年
年少人口(0~14才)	4,369人 13.7%	3,782人 12.3%	3,269人 11.4%
生産年齢人口(15~64才)	19,594人 64.0%	17,970人 58.6%	15,891人 55.5%
老年人口(65才以上)	7,968人 21.3%	8,872人 28.9%	9,404人 32.8%

竹原市も人口減と共に少子高齢化が進んでいる。竹原市の人口増加、竹原市の活性化に向けて竹原ロータリークラブも力を入れて行きたいと思う。

□認知症

昨年度NHKTV「認知症800万人時代孤立する認知症」が放映され、一人暮らしの高齢者の終末期の生々しい映像に強いショックを受けた。急速に進む高齢化と共に認知症への取り組みが急がれている。厚生省の推計によれば認知症の高齢者は462万人で、予備軍とされる軽度認知障害400万人を加えると65才以上の4人に1人が該当する。その数は800万人を超える。

この問題は日本だけでなく、世界共通の課題であり、一昨年主要8ヶ国で「認知症サミット」が世界で始めてロンドンで開催された。患者の急増が世界的にも予測されるなか、いまだ根治できる薬物療法はない。2025年までに治療法確立を目指すとする共同声明が発表された。

厚生省は昨年度から5ヶ年計画で「オレンジプラン」をスタートさせた。早期診断のための医療機関整備や看護師らによる「初期集中支援チーム」が自宅を訪れ相談に乗るなどする。

竹原市でも「せとうち」「むなこし」「ゆさか」「せいけい」の各ランチにも支援センターが置かれ、身近な相談窓口として活躍されている。尚、認知症予防等については、的場会の理事長である中川康子会員に是非卓話をお願いしたいと思っています。

私は今日まで何とか元気でこれましたことを感謝しています。これからも心と身体の健康に留意し、東京オリンピックを元気で迎えることを目標に頑張りたいと思っています。



会員 田中 幸俊

私は、この1月で55才となります。昭和56年にアヲハタ(株)に入社し、以来33年目となりますが、この間に、東京・山形での勤務がありました。

特に印象に残っているのが平成24年から1年間赴任した山形の冬でした。私は、生れも育ちも広島なので、雪には馴染みがなかったのですが、赴任した工場は山形でも有数の豪雪地帯です。一番大変だったのが、工場まで片道20kmある通勤でした。11月の下旬になると冬支度が始まり、車はスタッドレスタイヤにはき替え、ワイパーも雪使用の強靱なものに取り替えます。また、暖気運

転しないとドアが開かないため、遠隔でエンジンが掛かるようスターターも新たにつけました。長靴、スコップ、雪おろし用のブラシは必需品です。いざ雪が降り始め、こわごわと運転です。最初は雪道の運転に慣れず、つい普通で感覚で発進したり急ブレーキを踏んだりして、肝を冷やすこともあり。1月から2月にかけて雪の量もピークになり、あたり一面雪に覆われてすべてが真っ白の世界になります。

この時期になると、朝5時頃にガランゴロンと音がしたら除雪車の出動で、道路の除雪作業が始まりますので、これが積もっているサインです。

朝、家を出るときには、先ず暖気運転をしてその間に車に積もった雪を払い、出口の雪かきをして道路を確保し出発です。帰ってきた時は、駐車スペースの雪かきが必要です。

地元の人は、雪道でも猛スピードで走りますが、私にとっては毎日が命の危険を感じながらの運転でした。特に恐ろしいのが、吹雪と大雪とアイスバーンです。吹雪くと、数メートル先も見えず、雪がフロントガラスに飛び込んでくる感覚で、道路も、中央分離帯も側面もすべて真っ白で自分がどこを走っているのかわからなくなります。大雪は、多い時は半日で50cmも積もることもあり、こちらの雨が雪に置き換わるイメージで、1日中延々と降り続けます。大雪の時、駐車場から出られずに近所の人に押しもらったこともあります。逆に雪が降らない時は、道路はアイスバーンになり、一層の注意が必要です。

結局、私が居たこのシーズンは積雪量が2m60cmを超え、最高記録を更新した年となりました。

この地方の冬は、どんよりした曇りが殆どで、めったに晴れることはありません。しかし、長い冬が終ると、太陽も顔を出し、草木も一斉に芽吹いて、清々しい気分開放感が味わえます。

理事会報告（1月）

□日 時 平成26年1月16日（木）

□場 所 大広苑

□出席者 7名

□議 題

①2月27日（木）例会の件 承認

- ・例会時間変更 18:30～19:30
- ・広島商船高等専門学校留学生卓話2名予定
お礼 5,000円／人

②IMの件 承認

バス：安芸津10:15頃出発～
昼食（尾道国際ホテル）

- ・例会変更
2月6日（木）⇒2月1日（土）IMへ振替

③竹原青年会議所新春互礼会の件 承認

日 時 平成26年1月18日（土）

場 所 大広苑

御 祝 10,000円

④新入会員推薦の件 承認

⑤忘年家族例会決算の件 承認

⑥4クラブ合同例会の件 承認

日 時 平成26年3月5日（水）

場 所 フォレストヒルズガーデン

登録料 8,000円／人

交 通 42,000円（貸切バス）

⑦ガバナー補佐選考委員会メンバーの件 承認

委員長 佐渡 文武（元ガバナー補佐）

委 員 大森 寛（ 〃 ）

委 員 本庄 純夫（ 〃 ）

委 員 中川 康子

委 員 佐々木秀明

委 員 下山 生修

委 員 荒谷 隆文

委 員 木村 安伸

⑧故川本会員葬儀報告

香典はご辞退 弔電と生花をお供えしました

《出席報告》

会員数33名 出席29名 メイク 0名

欠席 3名 免除 1名 出席率90.91%